



高二中だより



「主体的に行動する」「すすんで貢献する」「多様性を理解する」「新たな考えを創造する」

〒175-0082 東京都板橋区高島平 2-24-1

Tel 03(3936)1591 Fax03(3935)6441

板橋区立高島第二中学校

校長 溝口 千里

「子どもの権利」と「未来予想図」

全校生徒を対象に「高二キャリア講座」を開催しました。すべてのゲストティーチャーから、子どもたちに伝えたい熱い思いを強く感じる一日でした。そこで今月号では、未来を支える子どもたちについて、「子どもの権利」という側面から考えてみます。

国連では1989年に、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を保障した「子どもの権利条約」を採択し、日本も1994年に条約に批准しています。

それから30年近く経った2022年6月15日、参議院本会議で「こども家庭庁設置法」と、子どもの権利条約に対応する「こども基本法」が、可決、成立しました。

子どもの権利にはどんなものがあるでしょうか。例えば、

- ・「子どもは自分と関わりあるすべての事について意見を表明でき、その意見は正当に重視される」
- ・「子どもは遊んだり、休んだりする権利を持っている」
- ・「子どもは必要な医療・保健サービスや社会保障制度を利用し、十分な生活を送ることができる」

などがあります。

では、学校では具体的にどんな場面で子どもの権利を尊重しているのでしょうか。

- ・「性別・障害・人種・生まれや文化（ルーツ）・経済状況などにより差別せず子どもと接する」
- ・「心を傷つける言葉を使う、身体を叩くなどせず、子どもにとって分かりやすい表現で物事を伝える」

などでしょう。

- また、今の時代に求められているものは、
- ・「学校運営や学級運営において、子どもの意見を聴き、その意見を取り入れる」
 - ・「子どもが休んだり遊んだりする時間を確保・考慮する」

家庭でも、学校でも、社会でも、これまであまり「権利」として捉えてこなかった「遊ぶ権利、休む権利」「意見を表明でき、意見を重視される権利」などの必要性を理解し、大事にしなければならぬと感じます。

意見を表明できるためには、考える機会を与える必要があります。高二キャリア講座では、これからの仕事や人生についてたくさんの示唆を生徒たちにいただきました。「どうなるか分からないけど、こんな人生を送りたい」「そのためには社会人になるまでは、どうする」ということを考えるきっかけになったと思います。

「ライフプラン＝自分の未来予想図」を考え、その描かれた未来予想図も、何回も書き直しをしていくことになるでしょう。収入を考えると、大卒の方が平均的には生涯給与は高くなります。しかし、各都道府県の給与水準と、ダイヤモンド社調べの「都道府県幸福度ランキング2021」を比較してみると、幸福度の上位に入る沖縄県、宮崎県、熊本県は給与水準では全国47位、43位、33位です。逆に、給与水準で全国1位、2位を争っている東京都、神奈川県は幸福度では45位、46位に位置しています。お金を稼げば幸せというわけにはいかないようです。なりたい人生は他人との比較ではなく、自分の内なるもので決まるのではないかと思います。

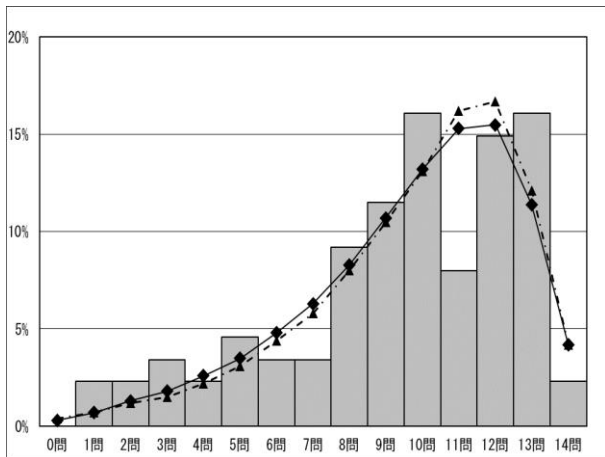


情報・人生クリエイター

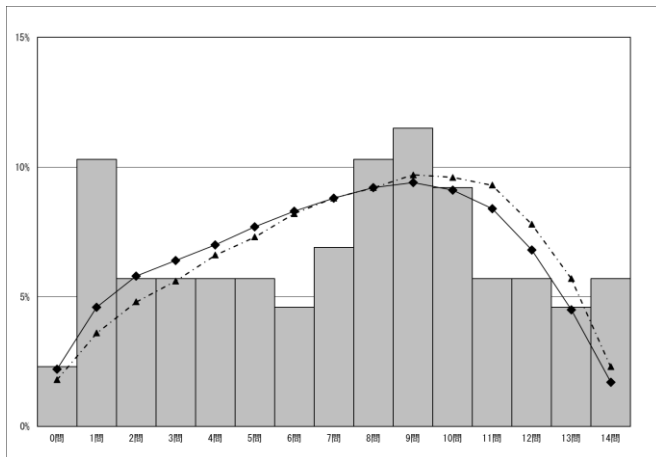
M.Iさんの講座の様子

全国学力・学習状況調査の結果（各教科の状況）

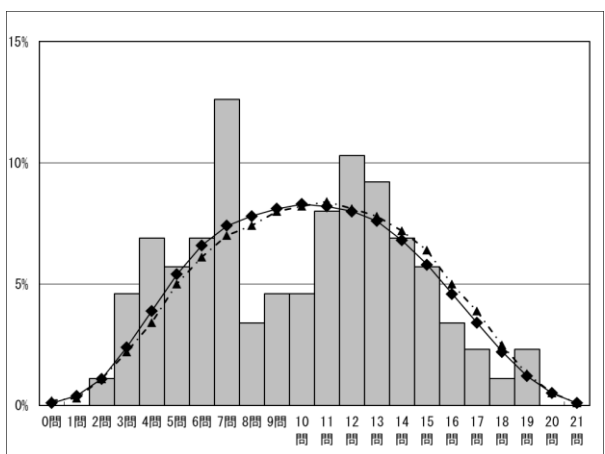
【国語】



【数学】



【理科】



■本校 ▲東京都（公立） ◆全国（公立）

★平均正答率

	本 校	東 京 都	全 国
国 語	67%	70%	69.0%
数 学	51%	54%	51.4%
理 科	47%	51%	49.3%

★平均無回答率

	本 校	東 京 都	全 国
国 語	5.4%	3.9%	4.2%
数 学	14.8%	9.9%	10.7%
理 科	5.1%	3.3%	3.4%

★上位層の割合（国語は14問、理科は21問）

	本 校	東 京 都	全 国
国語 正答数 13問以上	18.4%	16.3%	15.6%
数学 正答数 13問以上	10.3%	8.0%	6.2%
理科 正答数 19問以上	2.3%	1.9%	1.8%

★下位層の割合

	本 校	東 京 都	全 国
国語 正答数 3問以下	8.0%	3.8%	4.1%
数学 正答数 1問以下	12.6%	5.4%	6.8%
理科 正答数 7問以下	37.8%	25.3%	27.3%

【教職員の異動のお知らせ】

- ・退職 時間講師 (9年家庭) 9月13日付
- ・着任 時間講師 (8年理科) 9月5日より
- 時間講師 (7年理科) 9月16日より
- 時間講師 (9年家庭) 9月20日より

【高二中だより バックナンバー】

二次元コードを読み込むと
こちらから閲覧できます⇒



■各教科の授業改善推進プランは、学校ホームページをご覧ください。⇒



【考察】

上位層の生徒も多くいる半面、下位層の生徒も多くいるフタコブラクダのような分布となっている。

無回答率が高いことへの改善策が必要である。意識調査では、その教科が「好き」「役に立つ」など肯定的に答えている生徒が多いので、引き続き興味をもたせながら、授業中にわからない箇所があったときに適切な援助のてだてを与えることや、粘り強く問題に取り組めるようヒントを与えて解き方を導くことなど、演習時の工夫が必要である。また、中学校の学習の基となる基礎・基本の定着を図るため小学校との連携を強化する。

